

音響/振動計測解析ソフトウェア

LabdaqVibration

マニュアル

NI-DAQmx インストール編

eLaBNET

はじめに

LabdaqVibration を動作させるドライバーをインストールします。ADユニット添付のCD, NI-DAQmxを初期状態のまま、ドライバーをインストールすると、LabdaqVibration は動作しません。以下手順に従い、フレームワーク 4.5.1 のライブラリを手動でオンし、インストールする必要があります。

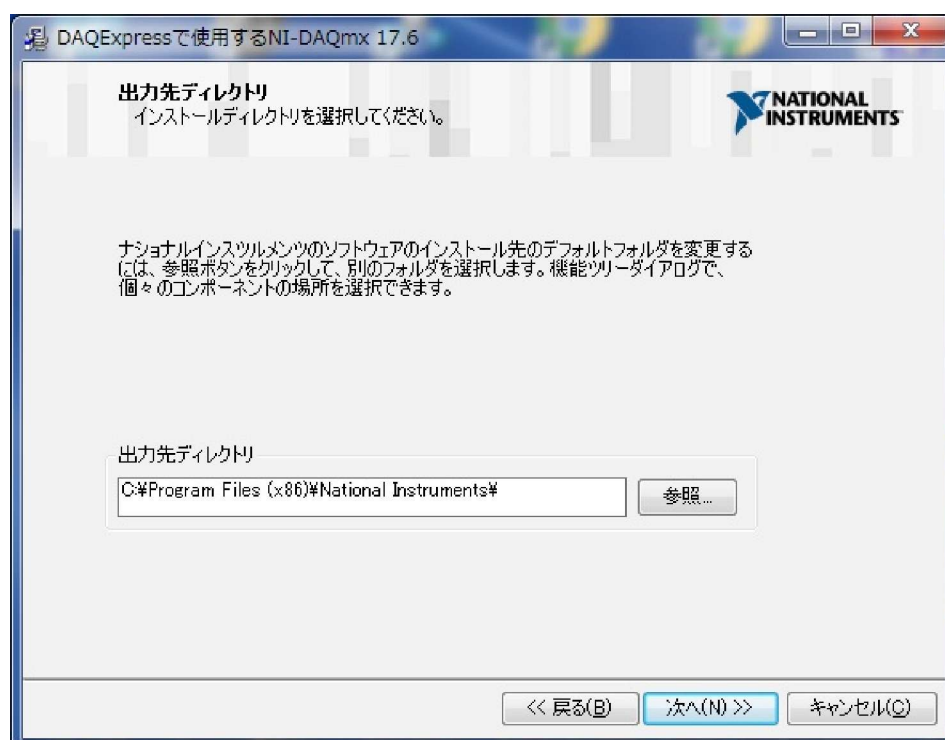
また、インストールするパソコンにフレームワーク 4.5.1 がインストールされていない場合、事前にマイクロソフトのホームページからダウンロード、インストールしてください。無料でダウンロードできます。

NI-DAQmxのインストール

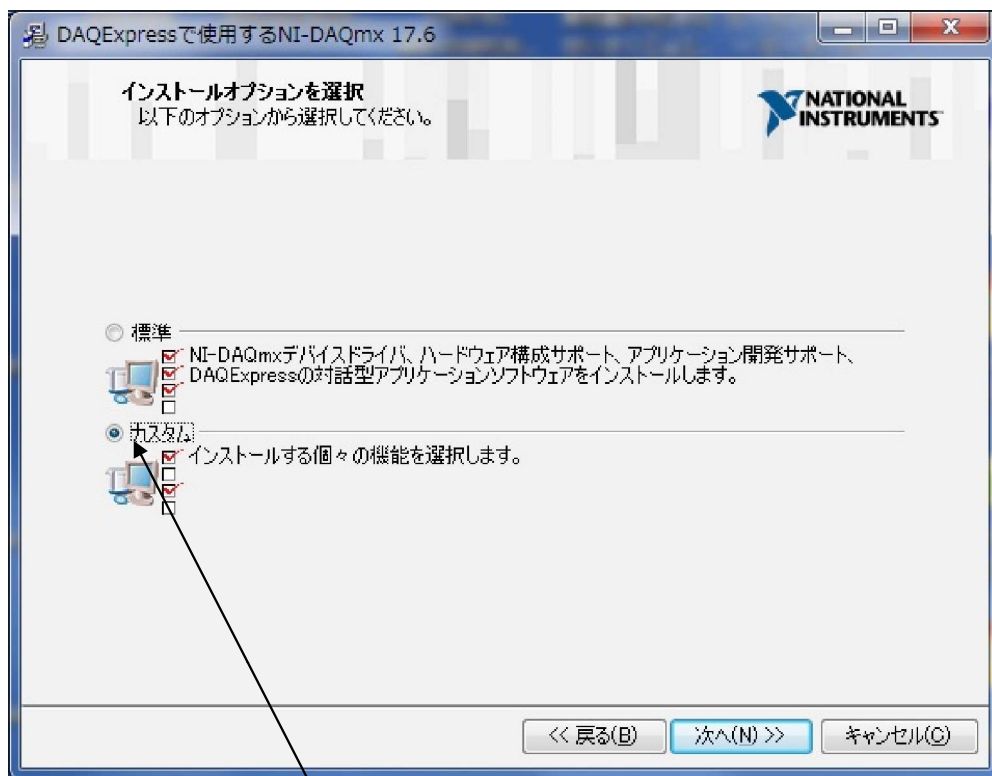
ADユニット添付のCD, NI-DAQmxをCDドライブにセットすると、インストールメニューが表示されます。



このメニューから、NI-DAQmxのインストールをクリックし、画面の指示に従いインストールします。以下の画面になります。

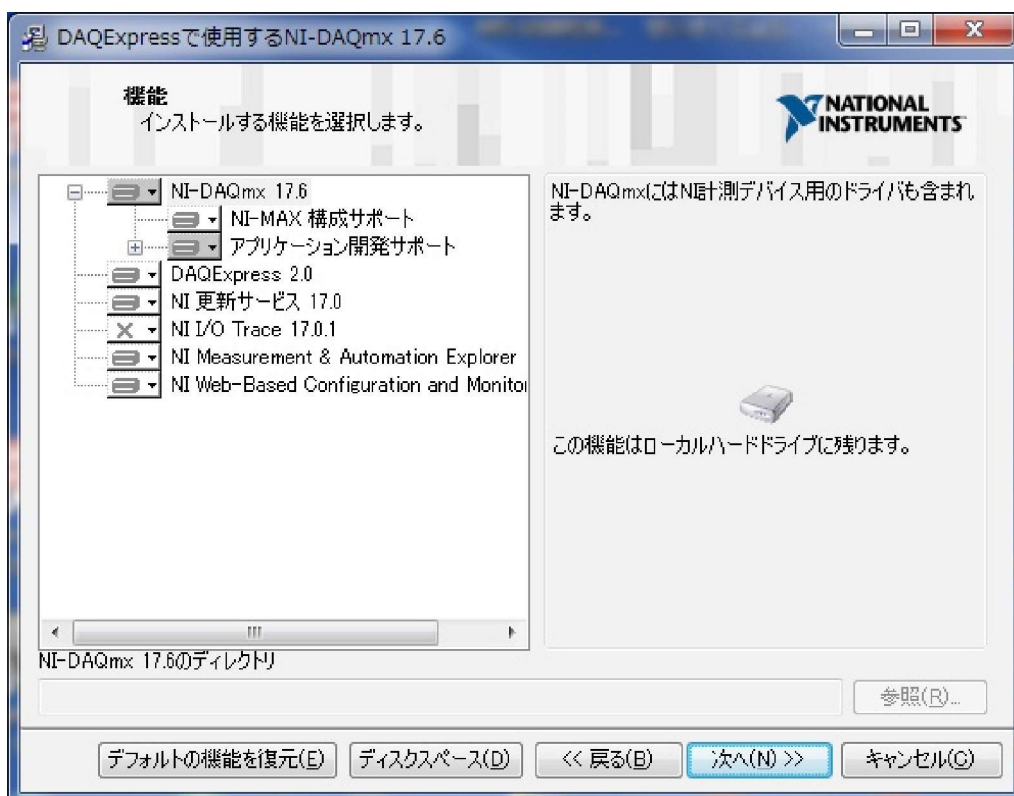


確認後、そのまま「次へ」ボタンを押します。以下画面となります。

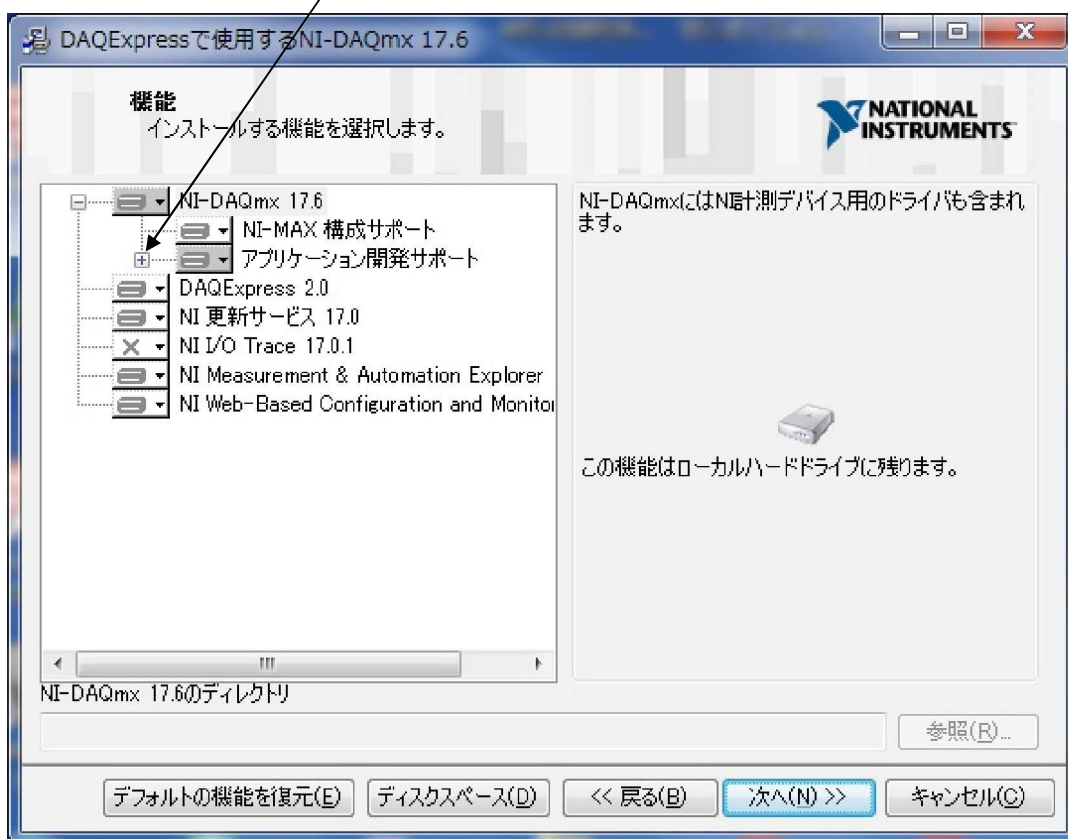


カスタムを選択します。

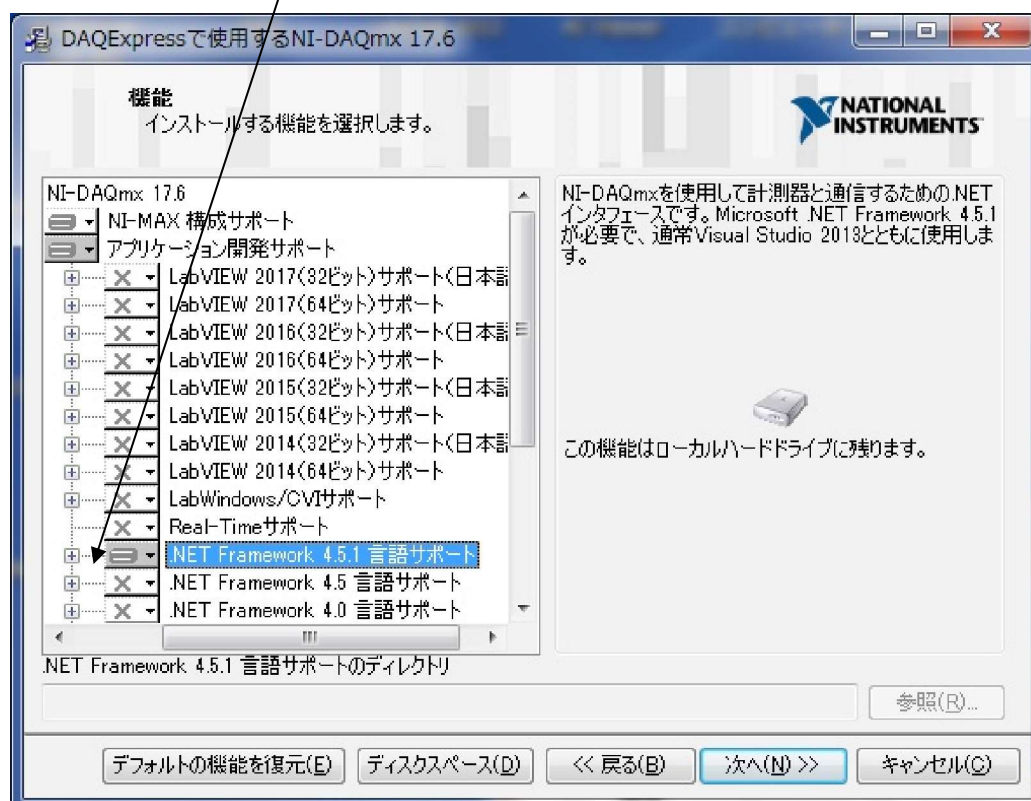
カスタムを選択後、「次へ」ボタンを押します。以下の画面となります。



この画面で、アプリケーション開発サポートの+マークをクリックします。



次に、この部分をクリックして、NET Framework 4.5.1 言語サポートがXになっているのを、以下のようにディスクマーク(インストールオン)にします。



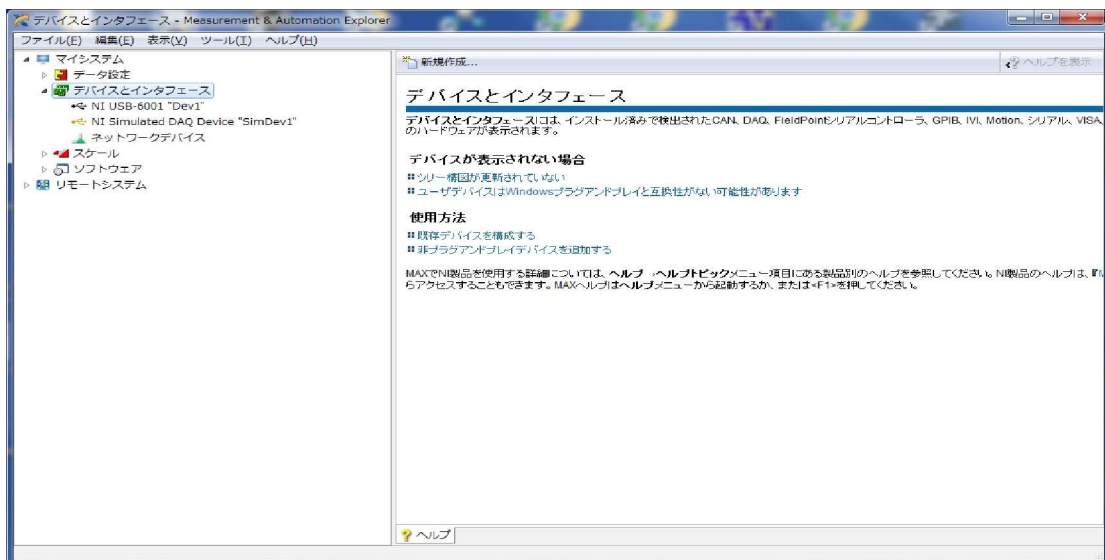
上記のように設定後、「次へ」ボタンでインストールを開始します。

NI-MAX起動

インストール完了後、プログラムリスト、または画面下、タスクバーに、Measure Automation Explorer、略してMAX、デバイス管理ソフトウェアがインストールされます。これをクリックすると以下、起動画面となります。



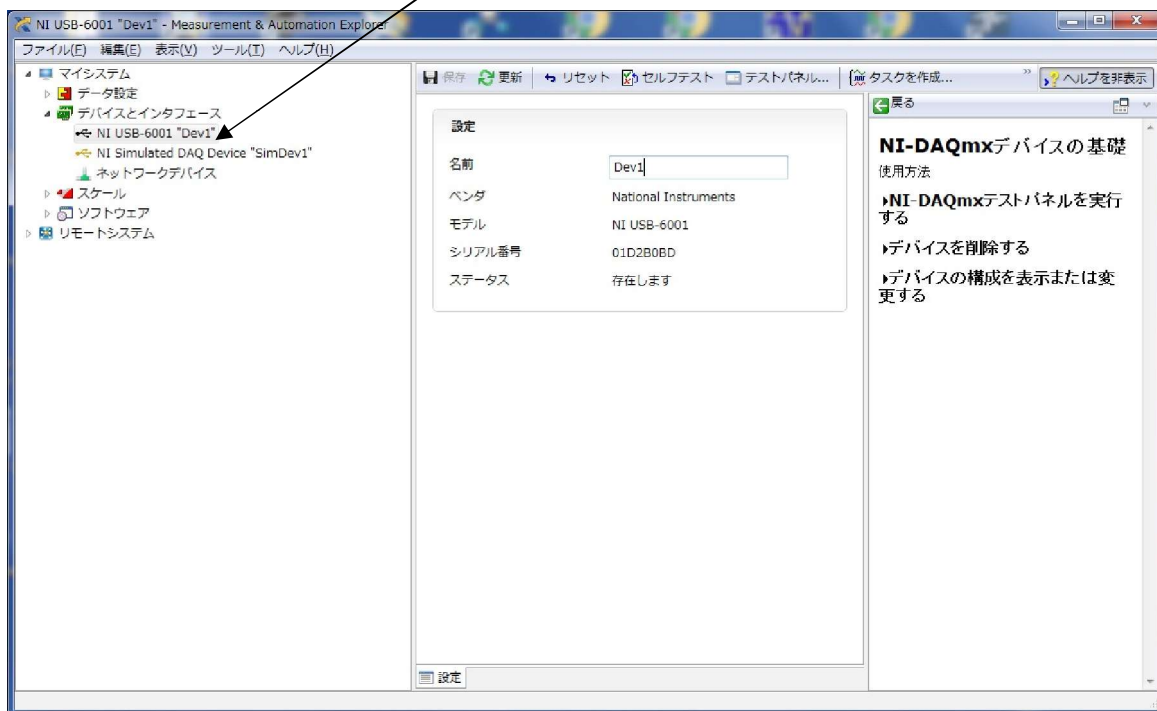
最終的に、以下の画面となります。



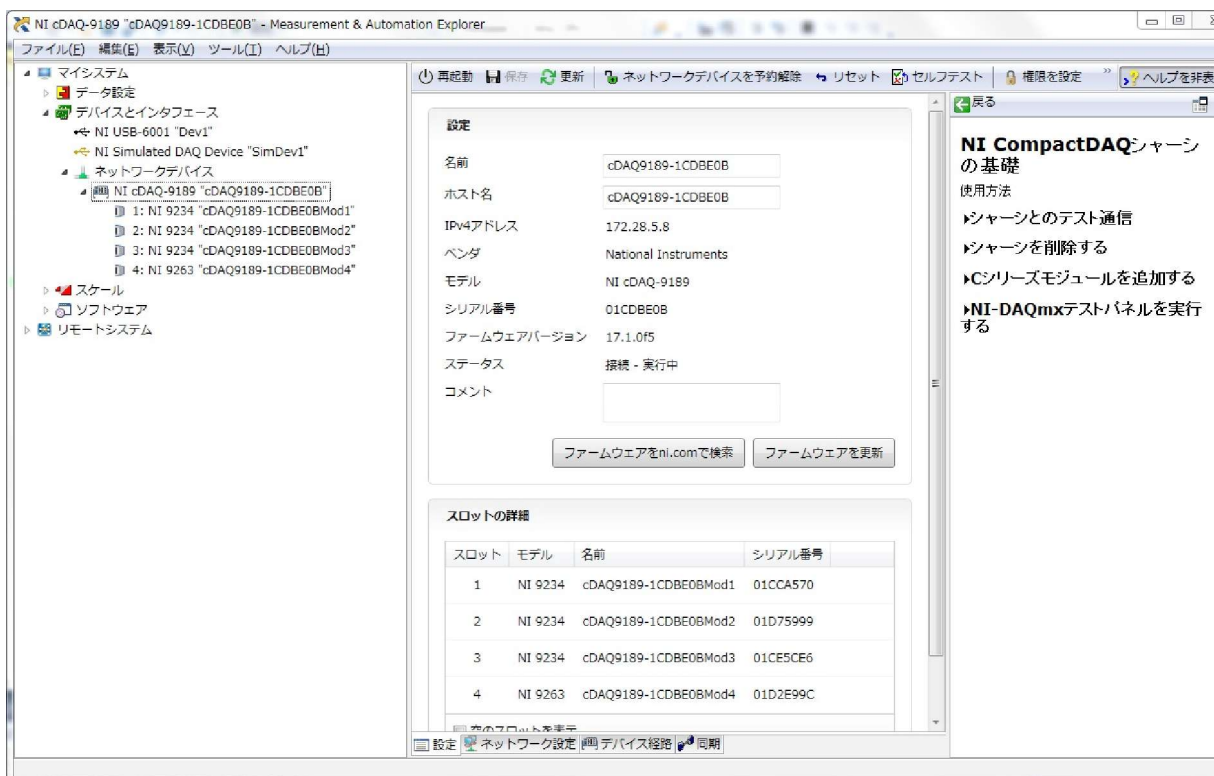
この時点では、デバイスを接続していないため、デバイスは表示されません。

デバイスをPCに接続します。接続が正常に実行されると、デバイス検出のメッセージが表示されます。

デバイスとインターフェイスを選択します。たとえばデバイス、NI USB-6001が正常に接続されていることが確認できます。



cDAQシャーシーが接続されていると、ネットワークデバイスをクリックするとcDAQが表示されます。



cDAQをLAN経由で接続の場合、ネットワークデバイスの予約、および解除の操作が必要です。
新規に接続、使用の場合、もし前回、他のPCで使用された場合、この使用されたPCでネットワークデバイスの解除が必要です。

PC側でのIPアドレス、サブネットマスクは、通常

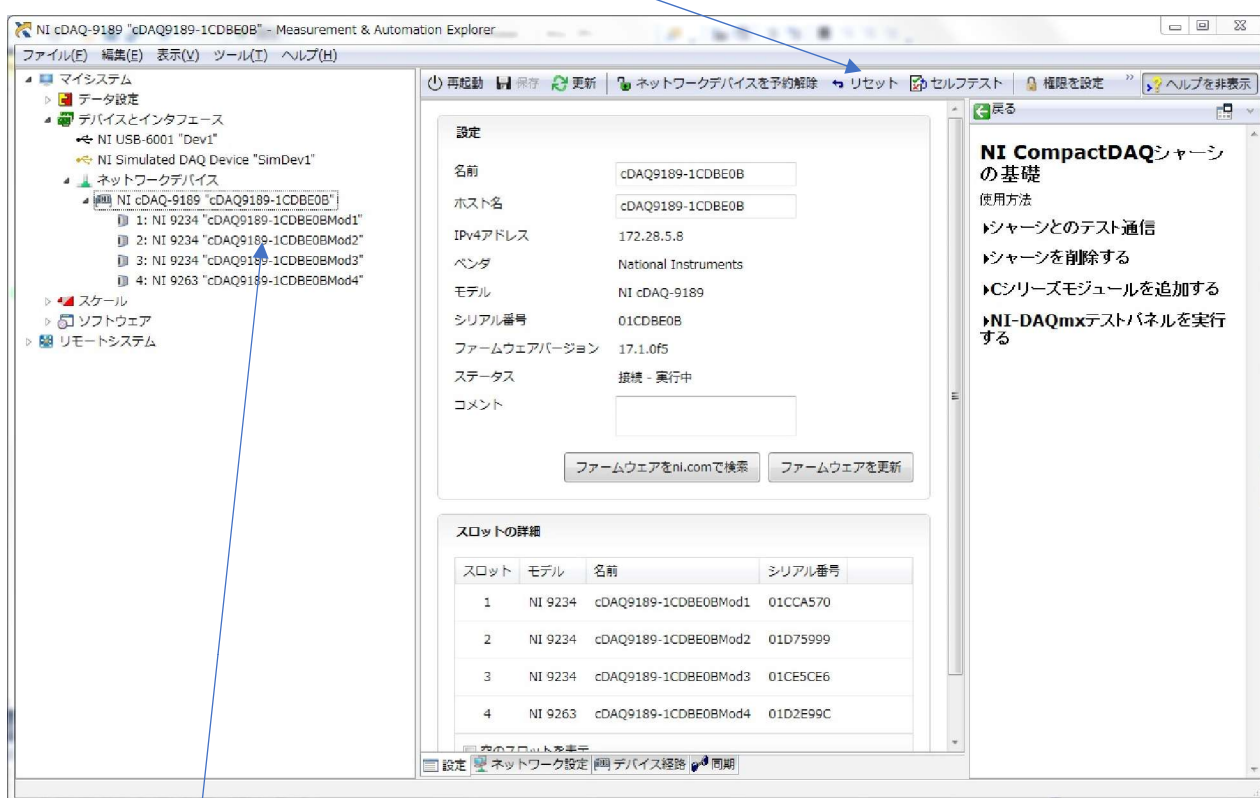
172. 28. 5. 1

255. 255. 0. 0

を設定します。

電源起動時は、MAXでcDAQシャーシーを一度リセットし、この後各モジュールをクリック、有効にします。

リセットを実行



各モジュールをクリックし、有効にします。

eLaBNET

(株)松山アドバンス

〒790-0944 愛媛県松山市古川西 2 丁目 11-24

電話 089-957-2243

FAX 089-958-2143

ホームページ: <http://www.elabnet.jp>